

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	(集排)中山地区施設管理事業			
予算科目	1 款 1 項 1 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課: 下水道課		電話番号(内線): 585	
記入者情報	所属長: 向井 英文		担当責任者: 中沖 賢一	
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】 平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	中山地区農業集落排水処理施設の管理運営			
根拠法令等	浄化槽法、水質汚濁防止法、伊予市農業集落排水処理施設の設置及び管理等に関する条例			
事業の目的	1.適切な維持管理運営により、施設の機能維持と延命化を図る。2.水処理及び汚泥処理を適切に行うとともに放流水質の安定を図り、農業用水及び公共用水域の水質保全を図る。			
事業の内容	佐礼谷地区及び犬寄地区農業集落排水処理施設並びに源氏簡易排水施設の維持管理運営			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	施設管理の業務委託について、複数年契約を実施しコスト縮減を図る。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	13,476	16,146	3,889	14,282
	人件費	1,591	2,815	1,407	2,815
	合計	0	18,961	5,296	17,097
人件費 内訳	人工数	0.20	0.35	0.18	0.35
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	1,590	2,814	1,407	2,814
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	15,067	18,961	5,296	17,097

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
施設の維持管理運営	千円	15066	18960	5296	17097
汚水処理量	m3	22994	23000	12338	23141
施設(装置)及び流入水の点検確認	回	12	12	6	12

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	65,000

成果指標				
成果指標	BOD除去率(%)=(流入水BOD値-処理水BOD値)÷流入水BOD値×100及び汚水処理コスト(円/m3)			
指標設定の考え方	安定した放流水質(BOD除去率90%以上)を確保するとともに、汚水処理コスト(汚水m3当たり)を年度比較し、処理能力を最大限に発揮できるよう施設の効率的な運営(維持管理)に努める。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	90%以上	90%以上	0	0
実 績	98.8%(655円/m3)	99.1%(739円/m3)	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設の運転管理について、包括的民間委託等の方法を検討し、さらにコスト削減を図りたい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	施設の適正な維持管理を継続していく上で、最適化整備構想の策定に向けて施設の機能診断調査を実施したところであり、策定後は機器等の長寿命化を図ることにより、ライフサイクルコストの最小化及び機能保全計画を基に予算の平準化が行える。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申	
外部評価 (行政評価委員会)	

経営者会議の最終判断	
事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	